

科 目 名
情報処理基礎 Introduction to Computers

1 年 前期 2 単位 必修

青 木 孝 房

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：2-(3)
情報教育目標との対応：情報の科学的理解
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
A	—	建築総合コース	必修	22.5時間
	A 4	建築計画コース		
	C	建築構造コース		

【概 要】

情報化社会と叫ばれて久しい今日において、コミュニケーション・プレゼンテーション・情報検索といった情報処理能力は必要不可欠である。

本授業ではこれから大学生活・社会生活を送るうえで必要なコンピュータの基礎的な操作を演習を通じて習得する。また、本学の情報教育の入り口ともいべき授業であり学生諸君は全員履修されたい。

【到達度目標】

- (1) パソコン (Windows) の基本操作の習得
- (2) OA ツールの基本操作の習得 (ワープロ、表計算、プレゼンテーション)
- (3) ネットワークの基本操作の習得 (メール、ホームページ)
- (4) ネットワーク社会における情報倫理の習得

【授業計画】

テ ィ マ	内 容
① Windowsの基本	オリエンテーション、タッチタイプ
② 日本語入力	日本語入力の演習
③ 文書の作成	簡単なワープロ文書の作成 1
④ 文書の作成	簡単なワープロ文書の作成 2
⑤ 文書の作成	課題演習
⑥ 表計算とグラフ	表の作成とグラフ表示
⑦ 表計算とグラフ	表の操作・関数
⑧ 表計算とグラフ	課題演習
⑨ 電子メールとインターネット	電子メールの操作
⑩ 電子メールとインターネット	インターネットの基礎、情報倫理、電子メール課題演習
⑪ ホームページの作成	WWWの基礎、簡単なホームページ
⑫ ホームページの作成	画像を使ったホームページ
⑬ プレゼンテーション	プレゼンテーションの作成
⑭ プレゼンテーション	プレゼンテーションの作成・発表
⑮ 情報倫理とまとめ	情報社会のマナーと危険
⑯ 定期試験	

【授業方法】

大学の演習室に設置されたパソコンを使い演習形式で授業を進める。E-Learningツール (WebClass) を使って学習の効率化を図る。学生の保有するノートパソコンを使って授業を行うことがある。

【学習到達度の評価】

大学の演習室に設置されたパソコンを使い演習形式で授業を進める。E-Learningツール (WebClass) を使って学習の効率化を図る。学生の保有するノートパソコンを使って授業を行うことがある。

【評価方法】

課題を全て終了し、課題 (50点)・定期試験 (50点) の合計で評価する。60点以上を合格とし、満たなければ再試験を行う。

【教科書・教材】

- ・「情報処理基礎ガイドブック」(崇城大学電子計算機センター作成)
- ・データ保存用に外部媒体 (USBメモリ等) を使用するので各自準備しておくこと。

【履修上の注意】

- ・課題演習については大学のパソコン演習室が利用できるが、自宅でやらざるを得ないことも考えられるので自宅にもパソコン環境があることが望ましい。